

## グラビア研究会 平成28年度 第1回勉強会

### —今、注目すべきグラビアに纏わる技術—

日本印刷学会グラビア研究会では、今年最後の企画として、グラビア分野からみた注目すべき技術をピックアップしました。前半はフィルムを高機能化する真空技術及び付加価値を付与する機能性材料技術について、後半は最新 I J 技術及びフィルム用水性 I J インク技術についてで、基材・機能性材料からデジタルまでグラビア印刷に纏わる注目すべき多彩な技術を紹介する企画となっています。皆様のご参加をお待ちしております。

共 催 : (一社) 日本印刷学会 技術委員会 グラビア研究会

協 賛 : 関東グラビア協同組合  
全国グラビア製版工業会連合会

日 時 : 平成28年12月16日(金) 14時00分~16時50分(受付は30分前から)

会 場 : 日本印刷会館 2階会議室  
電話: 03-3551-1808 (日本印刷学会事務局)  
〒104-0041 東京都中央区新富1-16-8  
有楽町線 新富町駅(5番出口) から徒歩3分  
日比谷線・JR京葉線 八丁堀駅(A3番出口) から徒歩6分

### プログラム

14:00~14:40

1. 「真空技術を用いたフィルムアプリケーションの技術動向」(40分)

(株)アルバック 高橋 明久

軽量、薄型化が求められるモバイル機器や、ガスバリアなどの用途で、フィルム製品が広く用いられており、フィルムの付加価値を高めるための真空技術が使用されている。各種フィルム製品と、それらに求められる真空技術を紹介する。

14:40~15:20

2. 「グラビア印刷分野における蓄光材料応用の可能性について」(40分)

(株)ネモト・ルミマテリアル 金坂 香里

蓄光材料は、安全標識板、時計の文字盤等に使用されているが、主にスクリーン印刷方式が採用されている。最近では、微粒子蓄光材料が開発され、付加価値を高めるための製品にオフセット、グラビア及びフレキソ印刷等の検討がなされている。蓄光材料の特性を含めて実用例を織り交ぜて紹介し、食品包材分野への法規制についても触れる。また、蓄光材料の災害対策としての活用例についても併せて紹介する。

休 憩 (15:20~15:30)

15:30~16:10

3. 「imagePROGRAF PRO シリーズを支える最新技術に関する報告」(40分)

キヤノン(株) 金子 卓巳

今年発売された imagePROGRAF PRO シリーズは従来より大きく飛躍した画質を実現した。それを支える技術の中で、すべての実観察環境において美しい「見え」を表現する技術と、入力機器の高画素化に伴う高精細画像の鮮鋭性を保つ技術を中心に紹介する。

16:10~16:50

#### 4. 「フィルム用水性インクジェットインクの開発」 (40分)

花王(株) 植田 泰史

パッケージ市場は社会の多様化に伴い、少ロット多品種印刷、短納期化の需要に加え、サステナブル社会に向けた廃棄物の低減も求められている。そこで、安全・安心、かつ消費者一人ひとりに響く高付加価値なパッケージ提案に向けてフィルム用水性インクジェットインクの開発について説明する。

定 員 : 56名 (定員になり次第締切ります)

締 切 り : 平成28年12月12日 (月)

席に余裕がある場合は当日参加できますが、講演要旨に限りがありますので、学会事務局にお問合せの上、ご来場ください。

参 加 費 : 5,000円 (日本印刷学会 個人会員・賛助会員、関東グラビア協同組合会員、  
全国グラビア製版工業会連合会会員)

8,000円 (その他)

参加費は当日会場受付にてお支払いください。

申込方法 : 一般社団法人 日本印刷学会 事務局

〒104-0041 東京都中央区新富 1-16-8

電 話 : 03-3551-1808

ファクス : 03-3552-7206

E-mail : nijspst-h@jpsst.org

URL : <http://www.jpsst.org/> /メール又はFAXにて、参加者の氏名、所属(会社名・所属)、連絡先、行事名、会員/非会員を明記して、学会事務局にお申し込みください。HP掲載後は、HPからの申し込みをご利用ください

ご 注 意 ; 申込み後の無断欠席は、ご容赦願います。定員に達してお断り者が出ている場合の無断欠席に關しましては、講演要旨と引き換えに参加費をお申し付けする場合がありますのでご注意ください。講演要旨のみのご購入をご希望の方は、講演会終了後に事務局にお申し込みください。



※ お断り : 終了時間は予定であり、多少前後することがあります。都合により講師及び演題を変更する場合があります。